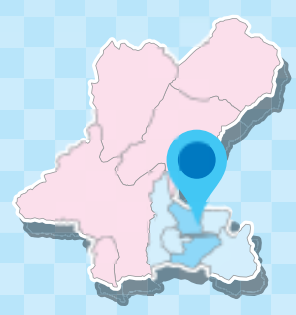




後山

うしろやま

野登呂山の「後ろ」にある集落の意 権現山には源平合戦ゆかりの神社



教雲寺墓苑から見る権現山中腹に咲くエドヒガンの花

後山という地名は野登呂山の後ろにある集落なので「うしろやま」と呼ばれるようになったと言われています。

安佐町日浦村

明治22（1889）年4月に沼田郡の後山村、毛木村、宮野村、筒瀬村の4つの村が合併し、沼田郡日浦村となりました。その後、明治31（1898）年には安佐郡日浦村となり、昭和30（1955）年に周辺の4か村と合併して安佐町となり、大字後山となりました。さらに広島市と合併し広島市安佐町となり、今日に至っています。

後山地区は周りを3つの山（権現山・野登呂山・荒谷山）に囲まれたすり鉢の底のような地形のところに出た集落で急傾斜地が多く、土砂災害が心配される地形です。しかし、広島市が定める都市計画の市街化調整区域になっていることもあり、自然は豊かで昔のままの地形等が残されています。

昭和46（1971）年には広島市安佐動物公園が、同51（1976）年にはあさひが丘団地が造成され、広島市中央部との交通の便も飛躍的に便利になりました。自然が残された後山地区と豊かな緑に囲まれたあさひが丘住宅地域と相まって今後も発展が見込まれています。

権現山

後山地区を囲む3つの山の中で最も親しまれている山は権現山で、山頂には源平合戦にゆかりのある日裏山神社があります。また、平成23（2011）年には近辺では珍しい「エドヒガン」という大きなヤマザクラが権現山中腹で見つかっています。



春の権現山を淡く彩るヤマザクラ エドヒガン

この桜はソメイヨシノより少し早く咲き、遠くから見ると少しピンク色に見えます。地上1.3mでの幹周が4.4mあり、根元から複数の幹が生えている株立となっています。

桜の開花時期は3月下旬から4月中旬ごろで教雲寺墓苑の駐車場から歩いて約20~30分で行くことができます。道は整備されており、危険な所はありません。

日裏山神社へはさらに約30分で登ることができます。途中急な坂道もありますが、道は整備されています。



地元の2社を合祀
地域に親しまれる村社

2 うしろやまはちまんじんじや
後山八幡神社

弘治3（1557）年、河野道忠が創立した東八幡宮と青木八幡宮とを大正5（1916）年に合祀して後山八幡宮と称するようになった。村社として古くから親しまれ、守られている。平成23年以降に、駐車場や舞殿が設置された。◎あり



市内唯一の動物園
オオサンショウウオの繁殖も有名

1 ひろしましあさどうぶつこうえん
広島市安佐動物公園

昭和46（1971）年、後山住民の大きな協力のもとにできたもので、今日では広島市唯一の動物公園として広く親しまれている。この動物園は、サイなど多くの繁殖記録があり、オオサンショウウオの繁殖も有名。



禅宗のお寺の跡地
経典を埋納か

4 うしろやまきよつつか
後山経塚

ここには、現在の教雲寺の前身とされる禅宗のお寺があった所で、今でも先坊山（せんぼうやま）と呼ばれている。経塚とは経典を供養して地中に埋納し、塚を築いたものといわれる。



道路拡幅の記念
バスも通り、生活が飛躍的に向上

3 どうろかいしゅうきねんひ
道路改修記念碑

大正5（1916）年に埴地区から後山川が太田川へ注ぐ付近の川崎地区までの後山地区の道路が拡幅された記念碑である。これでようやく自動車の通れる道（現在の県道268号線）ができた。その後、昭和4年ごろから、バスも一部通るようになった。



地域の集会所
趣味のグループ活用

6 うしろやましゅうかいしよ
後山集会所

後山唯一の集会所で、昭和55（1980）年に作られ、地元自治会の運営で管理されている。女性グループによる大正琴や日本舞踊などで利用されていたが、最近では利用者が減少している。◎あり

後世へ伝える石碑
毎週続けられる献花

5 せんえききねんひ・せんぼつしやいれいひ
戦役記念碑
戦没者慰霊碑

日清日露戦争、日中戦争、太平洋戦争による日浦地区の戦没者及び動員学徒の原爆戦没者の霊が祀られている。戦役記念碑は大正11（1922）年に設置され、昭和46（1971）年には原爆で亡くなられた学徒の霊も合祀（戦没者慰霊碑）され、現在も後山地区の住民が毎週1回献花を続けている。



後山 うしろやま



創立以来百年の学び舎跡
あさひが丘へ移転

8 きゅうひうらしょうがっこう 旧日浦小学校跡

あさひが丘の団地内へ昭和52(1977)年に移転するまで百年以上にわたり日浦小学校があった場所である。

江戸時代に火災にあうも
百年後に再建、今に至る

7 きょううんじ 教雲寺

教雲寺畧縁起(りやくえんぎ)によると宇治の黄檗山萬福寺(おうばくさんまんぶくじ)の僧賢禅師が建立し、萬福山光明院と号したという。天正元(1573)年、現在の地に移転したとされている。享保3(1718)年、火災にあい、文化10(1813)年に本堂再建、平成21(2009)年には平成の大修復事業が行われた。



権現山山頂の日裏山神社 かつては流鏝馬神事を奉納

日浦の権現山は標高が490.3mと比較的低く、正面から見れば山頂部がなだらかで緩やかな山に見えるが、全体に急峻な地形であり、東側から見ると山容が全く変わり、急峻な姿が見られる。

山頂からの眺望



権現山の山頂に日裏山神社があり、近辺では最も古い神社とされる。創建は後鳥羽天皇の御代文治3(1187)年、屋島の合戦による平家の敗残の将士宗像石見守外19名がこの地に逃避し、現在の社から約100m下がった地点に社をつくり、「熊野権現」と称してひそかに祀ったと言われている。守護神は「正一位御子熊野玉男大神、正一位熊野扶住須美大神」である。

その後、「後呂山権現」となり、明治4(1871)年に「日



日裏山神社本殿

裏山神社」と改名され、「ごんげんさん」の名前で親しまれている。古くは流鏝馬(やぶさめ)も行われ、武士の参詣者が多かったと言われているが、最近では毎年春に山頂で春祭りを行うが、参拝者は少ない。



春祭りの様子

後山地区には以上のほか

①川平神社 ②河内神社 ③薬師堂 ④地神堂 ⑤権現山鉾山跡 ⑥大ヤブツバキ ⑦小西養鯉場 などがある。